

QSK

2023年 新春

No. 189

<あけぼの会便り発行時期>  
隔月（奇数月）月上旬

# 福岡あけぼの会便り



作品名：ハッピーラビット 作者：ステップアップⅢ型 ペンネーム 永美

## 新しい年を迎えて 新年のご挨拶

求めているものをかたちに。共に夢を実現したい

特集 ～ あけぼのアート展  
それでも歩こう ～ しののめ  
五筑会便り  
後援会コーナー  
ともに明日へ ～ しののめ

<あけぼの会便り発行時期>

新春	1月初旬
春	3月上旬
初夏	5月上旬
夏	7月上旬
秋	9月上旬
冬	11月上旬

印刷・折り込み作業は利用者さんと職員、共同で行っております。発行時期が若干変更になる場合があります。ご了承ください。

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

数年続くコロナ禍で私達の生活様式、仕事の向き合い方、人との繋がりの方がおおきく変わらざるを得なくなりました。なるべく対面を避けWEB繋がりでできるものはそちらを優先でといった流れ。ともすれば効率的、安全策を最優先とされ、コロナ禍の副産物で今の様態が評価されてきています。確かに楽になったと感じるところも大いにありますが、相手の存在や温度をつかむにはしっかりと意識を念頭に置かなければそのまま流されていきそうです。

今年は共に活動する仲間の存在を常を感じ考えて、マスクを外せる時はお互いの表情を感じていたいと思います。皆で大きな声で笑いあえる場面をたくさんつくれるように。

コロナ禍で蓄積した感染症対策のノウハウを、今後は災害対策にも盛り込みさらに安心できるあけぼの会であるように努めていきます。

社会福祉法人 福岡あけぼの会 理事長 判田 章江



## 多機能型みらい

昨年は喫茶のリニューアルを行い、秋頃からは本格的にバザーやイベントへの出店を行ってきました。忙しい日々が戻ってきて嬉しく感じています。地域の要として皆様に愛される「喫茶みらい」をもっと知っていただけるように、2023年はさらなる飛躍を目指して！メンバー・スタッフ一同頑張っていきます！今年もよろしくお願いいたします。

施設長 榎本 美千代



## しののめ カレッタ

皆様、ゆっくりとお正月をすごせましたか。

しののめも今年は昨年より工賃がほしいな、イベントもしたいな、とやる気マンマンです。

カレッタは年末には焼肉忘年会、大晦日は年越しそばを皆でいただき、元旦には恒例の職員渾身の手作りおせち料理と雑煮で今年の健康を願いました。メンバーとスタッフが力を合わせればできるし、楽しめるをモットーにうさぎ跳びで今年もかけめぐります。

施設長 判田 章江



## 多機能型ステップアップ

ステップアップは、少しずつこれまで通りに近づいています。販売や地域バザーへの参加も再開を実現することが出来ました。昨年11月には、3年ぶりのバスハイクに行ってきました！今年も、作業・バザー・イベントetc…みんなで力を合わせてステップアップを盛り上げていければと思います。本年もステップアップをよろしくお願いいたします。

施設長 町永 吉宏



## トライアングル

トライアングルは「明るく・楽しく・思いやり・感謝」をスローガンに、今年もトライアングルパワーを披露いたします。

昨年度は、コロナの影響でイベント等が思うほど、できませんでした。今年は、できなかったことを皆で楽しみたいと思います。色々な事にチャレンジする年にしたいと思います。

どうぞ今年も宜しくお願い致します。

施設長 新屋 敬



## みぎわ工房

昨今の変化に対応しつつ、「ともに明日へ歩む」原点に立ち返り、ひとつひとつ目の前のことに地道に取り組んでいきます。それから、楽しいイベントがたくさんできたらいいなと思います。

施設長 野田 江美





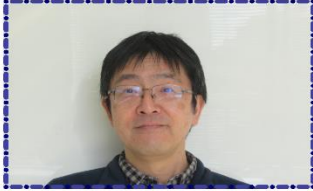


## ほのぼのHaKaTa

あけましておめでとうございます。  
2023年もワクワクドキドキのほのぼのHaKaTaをよろしくお祈いします。

施設長 森 和浩

## 心の春希望



明けましておめでとうございます。  
うさぎのように、それぞれの飛躍の年にしたいですね。W杯サッカーのように「新しい景色」が見えてくるように。  
目標は大きく持って、でも歩みは一步一步ゆっくと。  
力を合わせて前に進んでいきましょう。

施設長 宮本 政智

## サンサンはかた

☆祝☆ 2023年♪

「耳」みなさまの悩み・気持ちに耳を傾け、寄り添う面談をしていきます。  
「足」いっしょに考え・動き、フットワーク軽く支援していきます。  
「目」サンサンの中で、優しい目配り・気配りを心がけます。  
「うさぎ」のような癒しのサンサンを本年もよろしくお祈いいたします。

施設長 寺井 雄三

## ステップアップⅢ型

晴れの日も、雨の日も、来たら誰かに会えて、かかわり合える、みんなの居場所ステップアップ。雨が降ってもまた明日♪今年も、明日も寄ろう、来て良かったと思える居場所を皆さんと一緒に作っていきたくと思います。

施設長 箭内 味佳

## はーとふる

今年がうさぎ年ですね。ぴょんぴょん飛躍の年になりますように。  
イベントが少しずつできるようになりました。今年が春夏秋冬楽しいイベントができたらいいなと思っています。

はーとふるなはーとふるをよろしくお祈いいたします。 施設長 野田 江美

## 博多区第1

### 障がい者基幹相談支援センター

謹んで新春のお喜び申しあげます。

センターでは、さまざまな分野ごとのネットワークづくりをすすめています。  
利用者支援において、その方をとりまく環境（地域）に働きかけ、地域づくりをしながら、地域生活ができるように支えています。

「卯」には、「若葉が茂ってきた状態」の意味もあります。  
成長が感じられる年になりますように。

施設長 三浦 邦子

## 東区第3

### 障がい者基幹相談支援センター

新年あけましておめでとうございます。

卯年には、ウサギが跳ねる姿から「飛躍」「向上」などの意味があるようです。  
ウサギのようにはいきませんが、少しずつ前に進んでいけたらと思っています。  
皆さまにとって、ウサギが跳ねるよう大きな「飛躍」「向上」の一年でありますように！

施設長 江頭 大樹



# 第3回福岡あけぼの会アート展

令和4年11月11日（金）～18日（金）

出展作品：油絵 水彩画 日本画 パステル 色鉛筆画 絵手紙 などの平面作品  
11月18日（金）の13：00より、表彰式が行われました。

沢山の作品応募いただきありがとうございました。

コロナも幾分落ち着き  
あけぼのアート展を開催  
することができました。  
素晴らしい作品ばかり  
でした。



フリースペース黒板



観覧者わたあめ  
プレゼント



観覧者の方と皆で作品をつくりました



特別展示品



【主催】

社会福祉法人福岡あけぼの会・福岡あけぼの会後援会・家族会「すずめのお宿」

後援 福岡県精神保健福祉会連合会

協力 表現塾

【出店協力機関】

- HIROキッズ ○心の春希望 ○グループホームげんき ○サンサンはかた ○ステップアップ
- ふるはーと ○トライアングル ○みぎわ工房 ○らぶはーつ ○みらい ○表現塾
- 特定非営利活動法人アベル ○香椎療養所 3F病棟 ○香椎療養所 4F病棟 ○若久病院
- ぷらっと ○リプル ○福岡保養院 ○疋田病院 ○いずみ

ご協力いただきありがとうございます。



理事長賞

早瀬貴宏さん



特別賞

山口好子さん



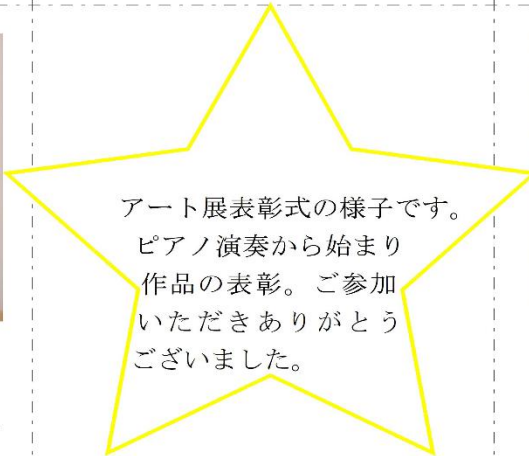
後援会賞

安武恵美子さん



家族会賞

河津けんじ・ちえこさん



アート展表彰式の様子です。  
ピアノ演奏から始まり  
作品の表彰。ご参加  
いただきありがとうございました。



賞状



第3回福岡あけぼの会 アート展表彰式



## それでも歩こう

### 結果だけではなく、その「過程」を評価してあげることの大切さ

先日、娘が英語検定試験（英検）を受験した。受験に有利になること、小4から英語が必修科目になっていることなどから英検にチャレンジする子は増えているようだ。

当日の本番に向けて、問題集を買ってきて繰り返し解いたり、音声のCDを聞いたりと頑張っていたが残念ながら結果は「不合格」だった。現実を突きつけられ、落ち込む娘の姿に親としてどう声かけしたらよいものかと悩んだ。

送られてきた成績表を見た。たしかに、結果は「不合格」。しかし娘の得点は合格点にほんのわずか足りなかっただけで非常に惜しいところまでできていた。

実力は着実に上がっている。「合格出来なかったけどあと数点取れば合格、というところまでできてるじゃない。今回は残念だったけれど次はクリアできると思うよ」と声かけすると、努力が無駄になったわけではないと思いき直してくれて「次もチャレンジしてみる」と気持ちを立て直してくれた。

もし不合格という結果だけにしか目を向けず、合格以外は価値がないものとし接していたらどうだったろうか。本番に向けて、単語を覚えたり問題集を解いたりコツコツ勉強したからこそもう少しで合格できるところまでできたはず。努力してきた過程にも十分に意味があるんだと過程を評価してあげることで、次へのモチベーションになったと感じた。メンバーさんや同僚への声かけも同じことが言えないか。「作業でミスした」「トラブルを起こした」「〇〇がダメだった」結果ばかりを評価してしまいその過程に目を向けなければやる気を失い、次へのモチベーションも上がらない。普段の様子や動向に目を向けそこに至るまでの過程を評価し、例え結果がそうでもそれだけで全否定しないこと。

私自身が周りに対してやる気を失わずモチベーションを維持し、チャレンジを続けてくれるような声掛けや接し方ができているだろうかと娘の試験を通して振り返ることが出来た。

しののめ 有吉

## 五筑会便り

五筑会では毎月第3土曜日にみぎわ工房にて定例会を開催しています。令和4年11月の定例会にて講師をお呼びして「成年後見人制度」についての勉強会を行いました。

令和4年11月19日(土)開催  
特定非営利活動法人  
高齢者・障害者安心サポートネット  
理事長 森山 彰氏  
テーマ「障害者の親亡き後の不安をどのように解消するか」

今回の勉強会はその前の定例会の際、成年後見人制度について相談された会員さんの悩みに他の会員さんより「知人の弁護士さんに聞いてきますね」というやり取りから始まりました。（知人の弁護士さんである）安心サポートネットの森山先生のご好意により急遽開催された勉強会でした。

その内容は

- ①不安解消する解決方法を決める際に配慮する点  
親自身が気力のあるうちに本人の意向を中心にした対策を講じる事  
独りよがりには抱え込まずに共生社会（支え合いの環境）を利用する事など
- ②基本的な成年後見人制度の仕組みや役割について（人権擁護機能と生活保持機能）
- ③「安心サポートネット」の仕組み  
市民後見人が職務を担い、各種専門家がネットワークを構築して市民後見人の職務を支援していることなど
- ④障害者の財産管理と遺言について



解りやすく丁寧なお話でした。また多数の質問が飛び交い、後見人制度を利用する際の具体的な経費についてまで答えて下さいました。

今回の定例会にはあまりお顔を見ない会員さんも参加され、参加できなかった方より「どんな内容でしたか？」と後日電話がかかってくるなど、親亡き後に当事者がきちんと暮らしていけるだろうか、家族にとって切実な問題だと改めて感じました。



# 福岡あけぼの会後援会コーナー

〒815-0082  
福岡市南区大楠1丁目35-17  
電話 092(791)5858  
mail kouenkai@f-akebonokai.jp

地域を支えるアート

九大大学院・長津准教授に聞く

シリーズ「地域と共に④」

第3回福岡あけぼの会アート展（社会福祉法人福岡あけぼの会、後援会、家族会、すずめのお宿共催）が、11月18日無事終了したのを機会に「地域におけるアートとは」について、九州大学大学院芸術工学研究院の長津結一郎准教授（写真）を訪ねた。（4、5面に関連記事）

東京芸術大学大学院博士課程を修了、博士。二〇一六年から九州大学大学院で、障がいのある人など多様な背景を持つ人々の表現活動に



着目した研究を続けています。「発表を自分だけのものとして、一歩進めて

多様な立場の人々が発表を通じて一同に会し、発表の内容について語り合い、交流の機会を生み出すことが出来れば文化（アート等）の場が、地域にとって新たな居場所として機能する契機になる」と。「例えば地域のの人に参加してもらい、トークイベントの開催。生きづらさを抱える当事者同士が語り合える場を開くなどの工夫は欠かせない」と。

アートは共に生きるエネルギー



長津教室からはすでに福岡市内の福祉事業所へアートマネージャーとして就職。事業所の各種アート展開を助言、指導している。さらに現在、同デザインコース在学中の女子大生は「福祉の現場に入り、いろんな課題に挑戦してみたい」と。

アートは、社会の中で多様な背景を持つ人たちが共に

豊かに生きていくための仕組みを生むきっかけとなり、エネルギーにもなっているのではないだろうか。（坂井記）

国定公園の松林保存ボランティア

松林再生に取り組み玄海国立公園幣（にぎ）の浜海岸（糸島市志摩芥屋）でのボランティア活動を続ける「リフレッシュ&ボランティア隊」（福岡あけぼの会後援会主催）が12月10日、3年ぶりに再開。サンサンはかた、心の春希望、みらい、しののめ、ほのぼのHaKaTa各事業所から計32名が参加。約一五〇〇本の幼松が育つ福岡あけぼの会担当区域（約3km<sup>2</sup>）に集合。糸島市アダプト事業代表の荻田昌治さんらの指導を受けながら松周辺の枯れ枝やゴミ、草刈を妨害する小石やコンクリート片等の除去作業を行った。当日は快晴にも恵まれ、作業の後、近くの海岸や、国指定天然記念物「芥屋の大門」周辺を散策。名物の糸島カキ（牡蠣）で昼食と、楽しい一日となりました。



令和5年開幕  
今年も宜しく  
お願い申し上げます。  
後援会長 坂井秀光

## 事業所紹介

施設名	郵便番号	住所	電話番号	Mail
本部事務局	815-0082	福岡市南区大楠1丁目35-17	092-791-7472	honbu@f-akebonokai.jp
多機能型事業所	多機能型みらい	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17	092-524-4121	mirai@f-akebonokai.jp
	多機能型ステップアップ	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-18	092-938-9388	stepup@f-akebonokai.jp
就労継続支援事業B型	しののめ	814-0101 福岡市城南区荒江1丁目23-25	092-851-7528	shinonome@f-akebonokai.jp
	しののめプラス	814-0104 福岡市城南区別府5丁目8-19	092-834-4336	shinonome@f-akebonokai.jp
	ほのぼのHaKaTa	812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目12-53	092-409-8318	honobono@f-akebonokai.jp
	みぎわ工房	816-0943 大野城市白木原4丁目1-5	092-592-3942	migiwa@f-akebonokai.jp
	トライアングル	811-2417 糟屋郡篠栗町中央4丁目15-3	092-947-3173	triangle@f-akebonokai.jp
地域活動支援センター	心の春希望(I型)	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17(2F)	092-524-4153	kibou@f-akebonokai.jp
	サンサンはかた(I型)	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-36	092-409-2471	sansan@f-akebonokai.jp
	ステップアップ(III型)	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-17	092-938-6702	stepup3@f-akebonokai.jp
区障がい者 基幹相談支援センター	博多区第1障がい者基幹 相談支援センター	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-1	092-409-2478	hakata1kikan@f-akebonokai.jp
	東区第3障がい者基幹 相談支援センター	812-0061 福岡市東区馬出1-2-23第1岡部ビル102号	092-292-5604	higashi3kikan@f-akebonokai.jp
グループホーム	カレッタ	814-0033 福岡市早良区有田5丁目24-27	092-873-2578	caretta@f-akebonokai.jp
	はーとふる	811-2405 糟屋郡篠栗町大字篠栗3697-1	092-947-6805	heartfull@f-akebonokai.jp



第42回

ともに明日へ

# しののめ

〒814-0104  
福岡市城南区別府5-8-19  
TEL 092-834-4336  
FAX 092-834-4469  
しののめプラス

しののめプラスは城南区別府でお弁当屋さんを営業しており、いつも多くのお客さんに来ていただき忙しい毎日を送っています。そんな中でも食事会など様々なイベントをメンバーさんたちと企画しながら楽しんでいます。そのうちの一つに毎月行っている『歩こう会』があります。気分転換や運動する機会を作ろう！という目的で行っている『歩こう会』ですが、今月はどこを歩くかメンバーさんが決めています。桜や蓮や銀杏など季節を感じながら歩く月があれば、しっかり2キロ大濠公園を歩く月、のんびり海を眺めて雑談をする月があります。



ジム



海



体育館



歩こう会



「福岡あけぼの会便り」バックナンバーはこちらからご覧いただけます。→

